



1 来場する選手を迎えるハイタッチ。2 弁城小のソーラン節。3 募金を贈呈する福智町実行委員会の池田昇会長。4 会場の随所にみられた記念撮影の風景。5 選手もチャレンジした餅つき。6 間近で披露された上金田郷土芸能保存会の獅子舞。7 子どもたちのサインに快く応える選手たち。8 ノートを埋めていく選手のサイン。9 ラストを飾った炭坑節の総踊り。

Pickup Topics

● 飯塚国際車いすテニス大会国際交歓会  
主催／飯塚国際車いすテニス大会福智町実行委員会

交歓の熱気  
会場一面

19年前、旧金田町が「飯塚国際車いすテニス大会」の「カナダ」の選手を招待して始まった国際交歓会。以後、ほかの国々の選手も続々と参加し、福智町誕生後も大会期間中の恒例行事として定着しました。その心通じた活況をお届けします。



飯塚国際車いすテニス大会の出場選手と交流を深める「国際交歓会」。大会の恒例行事となった「大イベント」が、今年も福智町を舞台に開催されました。5月14日の夜、金田体育館には、およそ800人の住民が集まり、選手たちを大歓迎。歓迎スピーチでは金田中の植田優吾生徒会長と山方香菜子副会長が「皆さんにお会いできてうれしいです。また明日からのみなさんの健闘をお祈りします」と英語であいさつしました。



2回バウンドしてからでも返球できるのが車いすテニスのルール。「飯塚国際車いすテニス大会」が5月12日に開幕し、大会には12か国から112人が参加。サブ会場の福智町屋内競技場(ドーム)では、3日間、男子BクラスとCクラスの試合が展開された。

選手たちは、出演者と写真を撮ったり、食事に舌鼓を打ったりして場内交流。子どもたちが選手に近づき、英語で話しかける姿も多く見られました。最後は、会場全体が輪になって、炭坑節の総踊りで締めくくり。コートで真剣な選手たちも、この日はやはり満面の笑顔で、交歓のひと時を楽しみました。

四季の歌

心映の投句  
俳句・短歌教室の詠歌紹介

はな句会  
池田一步選  
快晴や池前景にかゝり藤  
草取るや鈴蘭蕾か、けるし  
数多ある色に優れて白牡丹  
街に出て華やぐ娘らや風五月  
柿若葉いつまで続く立話  
花の下大正琴に聞き入りて  
寝つかれぬ病の辛さ灯取り虫  
春風に心寧ぎ終の園  
風の空心地よげなる鯉幟  
博多の子変りなかりし子供の日  
二三度は痛い思ひの薔薇手入れ

福智町金田公民館俳句教室  
岩井鬼童選  
のどけしや軍歌十八番の老の会  
生命線しかと掌にあり春惜しむ  
のどけしや猫に欠伸をうつつされて  
四月号印刷の香と夢を載せ  
遠足の歓声も乗せスロープカー  
遠足のバスに乗る度敷へをり  
荒城の歴史に育つ桜かな  
出港の銅鑼に希望の春の旅  
軒先に藁くづ垂れて雀の巢  
春惜しむ鬼平犯科帖読んで

方城句会  
池田一步選  
降りさうに晴れさうに園つゝじ燃ゆ  
薫風の薩摩切子にありにけり  
藤の香をもたらす風に誘はれて  
紺碧の空や穂麦の熟れ初め  
風向きの藤の匂へる四阿に  
揚羽蝶まとはりつきて道標  
言激し普天間基地に暑き風  
山藤の齊れて妙なる香でありし  
花の下老人会のツアー体操  
ひそと咲く一人静の遊歩道

ともしび短歌会短歌詠草  
エビネ蘭国東の旅に求めきて幾度の春か黄の色やさし  
襟たつるほどの寒さよ咲く花に四月なかばを名残り雪降る  
念願の人力車に乗り姪とわれ心はずみて浅草めぐる  
花ひらき桜は仰ぎ見るがよし冬木の枝も風情のあれど  
十二人が立ちて順次に矢を放つ射場に聴ゆる鶯の声

写真が語る 写真館  
なかの 写真館  
方城炭鉱のツッココさん  
撮影者●不明  
撮影日●昭和初期  
歳末の炭住に正月の餅をつきに  
来ていたツッココさん。合いの  
手や三味線も加え、賑やかに  
人の心をつないでいました。  
この餅つき唄が語り継がれ、町  
の伝統芸能となったようです。  
昔の写真を探しています！  
園企画課広報・広聴係  
☎22-7766